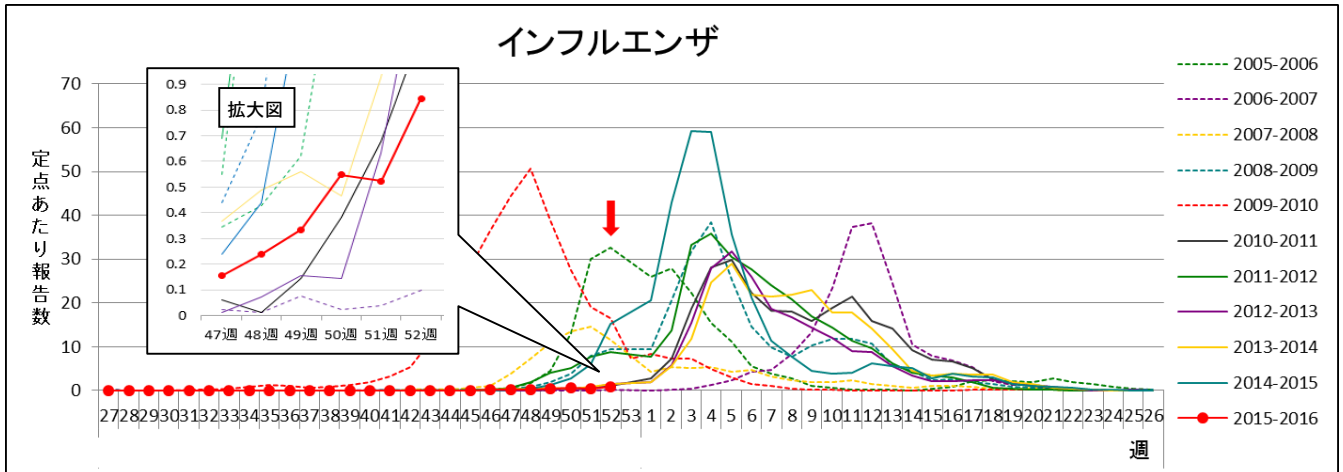


インフルエンザ週報 2015年 第52週 (12月21日～12月27日)

【お知らせ】次週、2015年第53週(12/28～1/3)のインフルエンザ週報は、2016年1月12日(火)にホームページへ掲載いたします。

➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で71名の報告がありました(84定点医療機関報告)。
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が2施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者1名の報告がありました。



※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第27週～翌年第26週で、グラフを作成しています。

インフルエンザは、県全体で71名(定点あたり0.52→0.85人)の報告があり、前週よりわずかに増加しました。地域別では、真庭以外のすべての地域で患者が報告されており、倉敷市(1.75人)、備中地域(1.42人)、備前地域(0.67人)の順で、定点あたり報告数が多くなっています。特に、倉敷市では、前週(0.44人)より大きく増加しており、岡山市、備前地域、美作地域でも増加がみられました。

第51週全国集計によると、全国の定点あたり報告数は0.46人であり、前週(0.34人)よりわずかに増加しました。都道府県別では、秋田県(3.41人)、北海道(1.54人)、新潟県(1.26人)の順で、定点あたり報告数が多くなっています。

『外出後や食事の手洗いを徹底する。』『人混みを避け、人混みに入るときはマスクを着用する。』『十分な睡眠を取る。』など、感染予防に努めてください。また予防接種を予定している方は、早めに済ませましょう。

[平成27年第51週 インフルエンザの発生状況について\(厚生労働省\)](#)
[インフルエンザ Q&A\(厚生労働省\)](#)

◆◆ インフルエンザの予防接種は、お済みですか?! ◆◆

インフルエンザのワクチンによる効果が出現するまで、2週間程度かかります。
本格的な流行がはじまる前に予防接種を済ませることをお勧めします。

定期予防接種の対象者は積極的に予防接種を受けましょう。定期予防接種の対象者以外の方は、任意での予防接種を受けることをご検討ください。

- 予防接種は発症の可能性を減らし、もし発症しても重い症状になるのを防ぎます。
- 年により、流行するウイルスの型が変わるため、毎年接種する必要があります。

定期予防接種対象者

- * 65歳以上の方
- * 60～64歳で心臓、腎臓または呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活が極度に制限される方、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に障害があり、日常生活が非常に困難な方

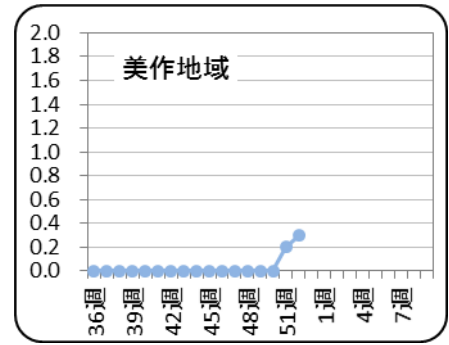
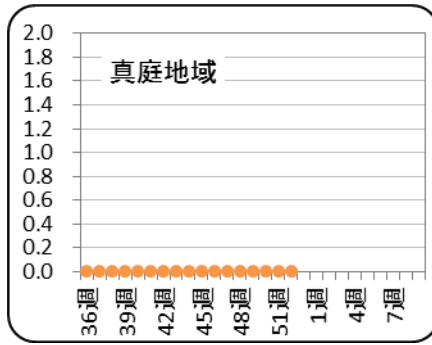
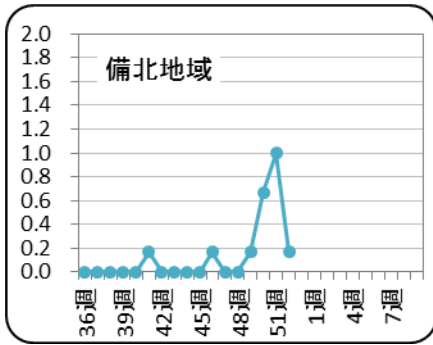
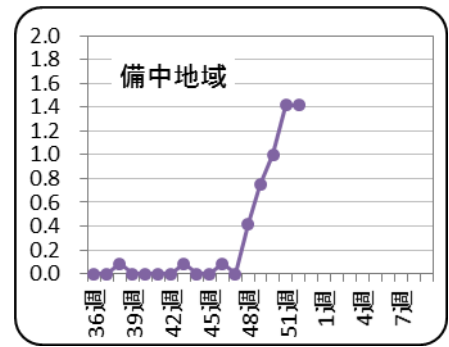
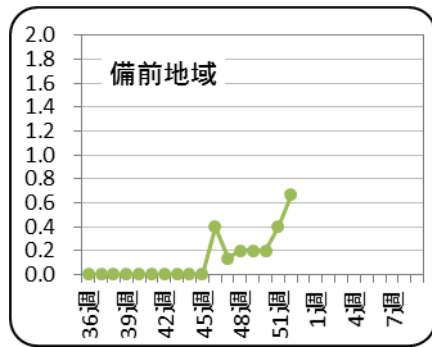
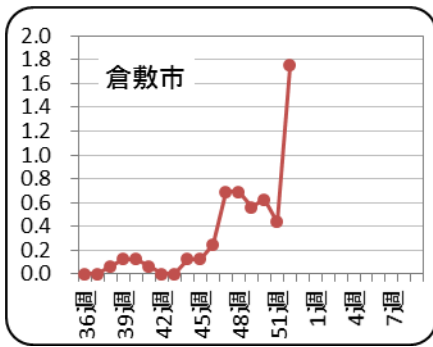
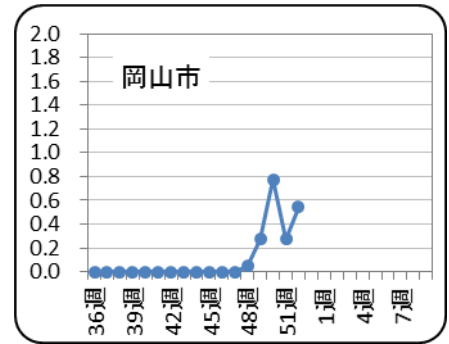
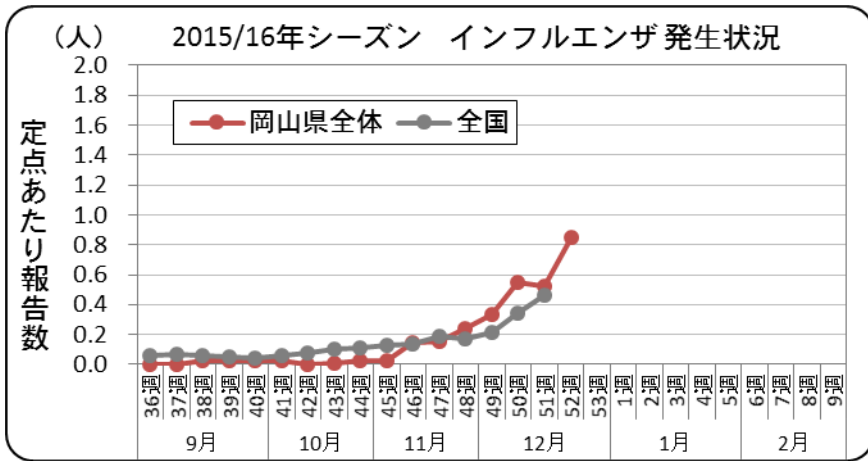
◎ワクチンの在庫および予防接種の予約等については、各医療機関にお問い合わせください。

1.地域別発生状況

前週からの推移（単位：人）

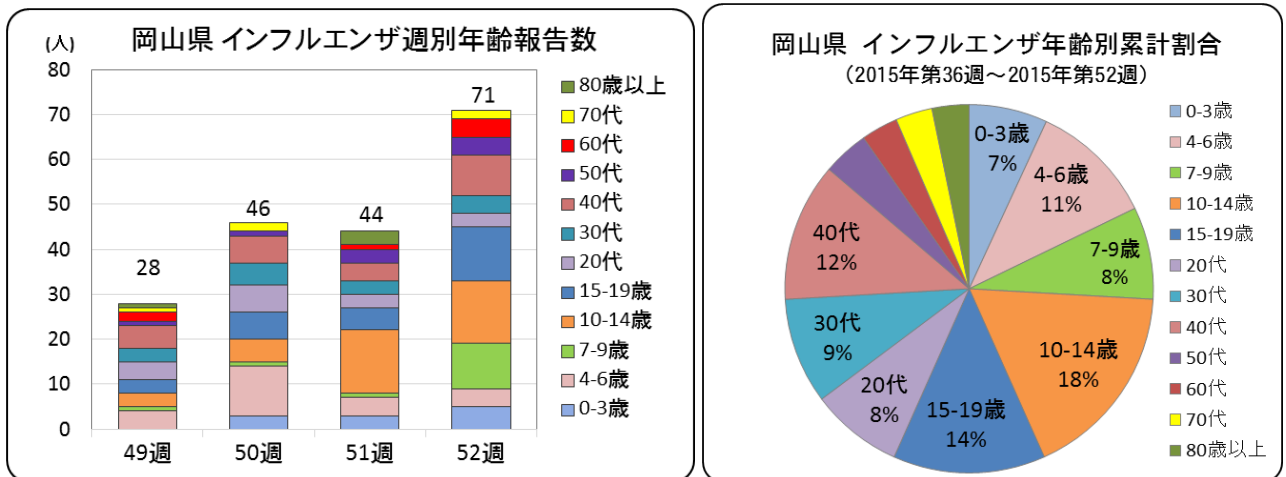
地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	71	↗	備 中	患者数	17	→
	定点あたり	0.85			定点あたり	1.42	
岡山市	患者数	12	↗	備 北	患者数	1	↘
	定点あたり	0.55			定点あたり	0.17	
倉敷市	患者数	28	↗	真 庭	患者数	—	→
	定点あたり	1.75			定点あたり	—	
備 前	患者数	10	↗	美 作	患者数	3	↗
	定点あたり	0.67			定点あたり	0.30	

【記号の説明】 前週からの推移
 ↓ : 2倍以上の減少 ↘ : 1.1~2倍未満の減少 → : 1.1未満の増減
 ↗ : 1.1~2倍未満の増加 ↑ : 2倍以上の増加



2. 年齢別発生状況

今シーズン（2015年8月31日～）の年齢別累計割合は、10-14歳 18%、15-19歳 14%、40歳代 12%の順で高くなっています。

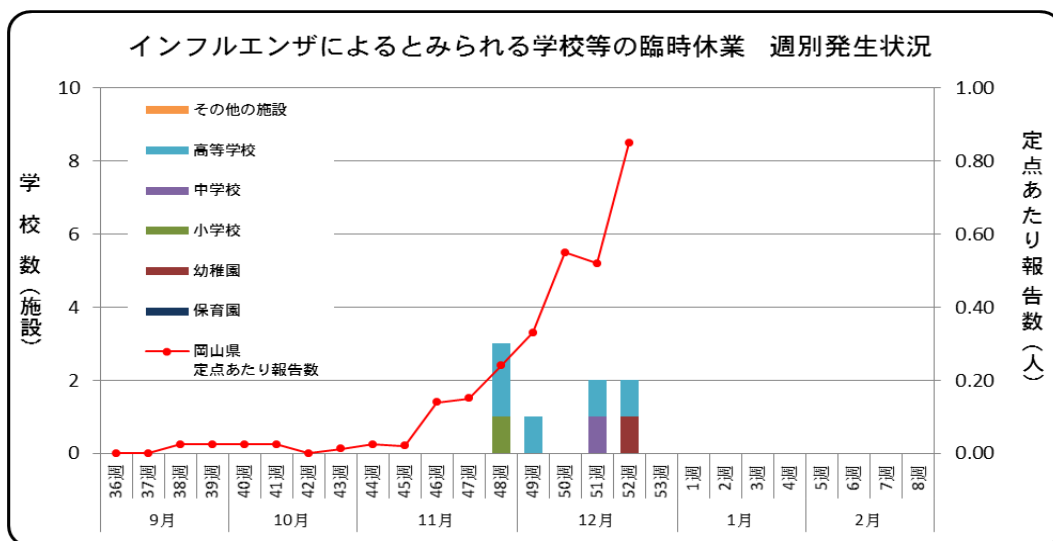


3. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が2施設でありました。

【第52週 臨時休業施設数】

▽倉敷市 2



1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	18	81	17	66	2	8	—	—	1	1	1	7	H27.11.24
岡山市	0	9	0	6	0	1	—	—	—	—	0	1	H27.11.24
倉敷市	18	29	17	26	2	3	—	—	1	1	1	2	H27.12.15
備前地域	0	9	0	7	0	1	—	—	—	—	0	1	H27.11.24
備中地域	0	34	0	27	0	3	—	—	—	—	0	3	H27.11.24
備北地域	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
真庭地域	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
美作地域	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

2) 臨時休業施設数の内訳

第52週：2施設

累計：8施設

施設数	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
	—	—	1	1	0	1	0	1	1	5	—	—

4. インフルエンザウイルス検出状況

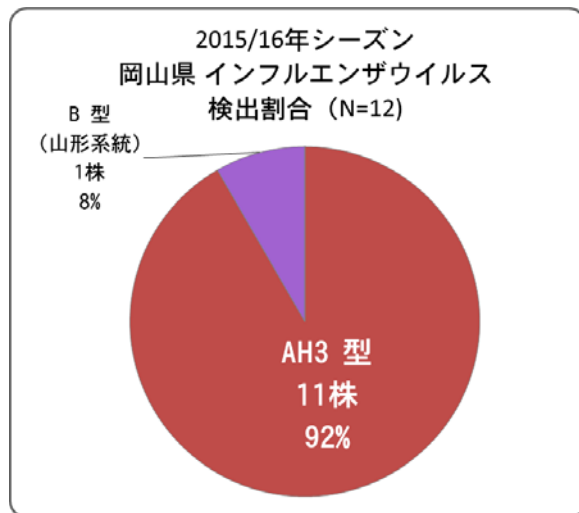
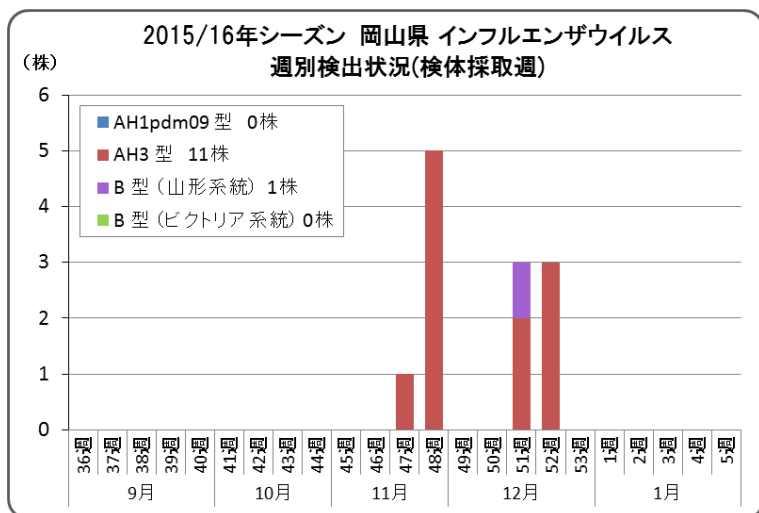
第52週、環境保健センターで判明したインフルエンザウイルスは、AH3型が3株でした。今シーズン、これまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型が11株（92%）、B型（山形系統）が1株（8%）となっています。

今シーズン、全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型104株、AH1pdm09型66株、B型65株となっています。（2015年12月28日現在）

[インフルエンザウイルス分離・検出速報（国立感染症研究所）](#)

【第52週 判明分】

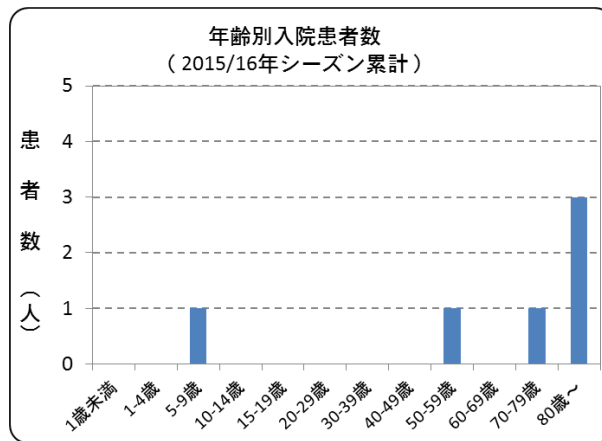
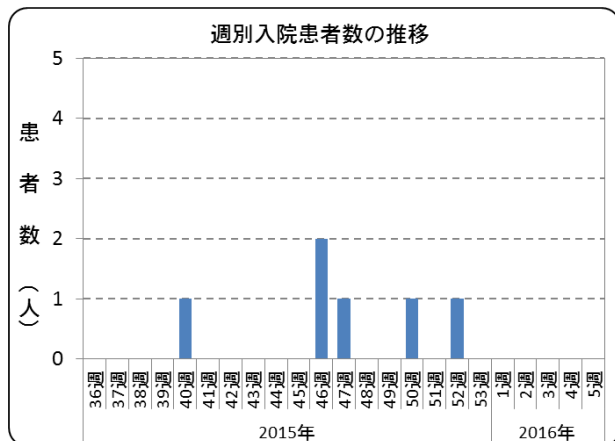
ウイルス名	検体採取週	検体採取日	地域	年齢	性別	備考
インフルエンザウイルスAH3亜型	2015年第52週(12/21~12/27)	2015/12/22	倉敷市	幼児	男	集団発生
インフルエンザウイルスAH3亜型	2015年第52週(12/21~12/27)	2015/12/22	倉敷市	幼児	女	集団発生
インフルエンザウイルスAH3亜型	2015年第52週(12/21~12/27)	2015/12/22	倉敷市	幼児	男	集団発生



5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、1名（70-79歳）の報告がありました。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずとうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関に相談しましょう。



【第 52 週 入院患者報告数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数											1		1
ICU入室													
人工呼吸器の利用											1		1
頭部 CT 検査(予定含)													
頭部 MRI 検査(予定含)													
脳波検査(予定含)													
いずれにも該当せず													

* 重複あり

【2015年8月31日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数			1						1		1	3	6
ICU入室			1						1				2
人工呼吸器の利用			1								1		2
頭部 CT 検査(予定含)													
頭部 MRI 検査(予定含)													
脳波検査(予定含)			1										1
いずれにも該当せず												3	3

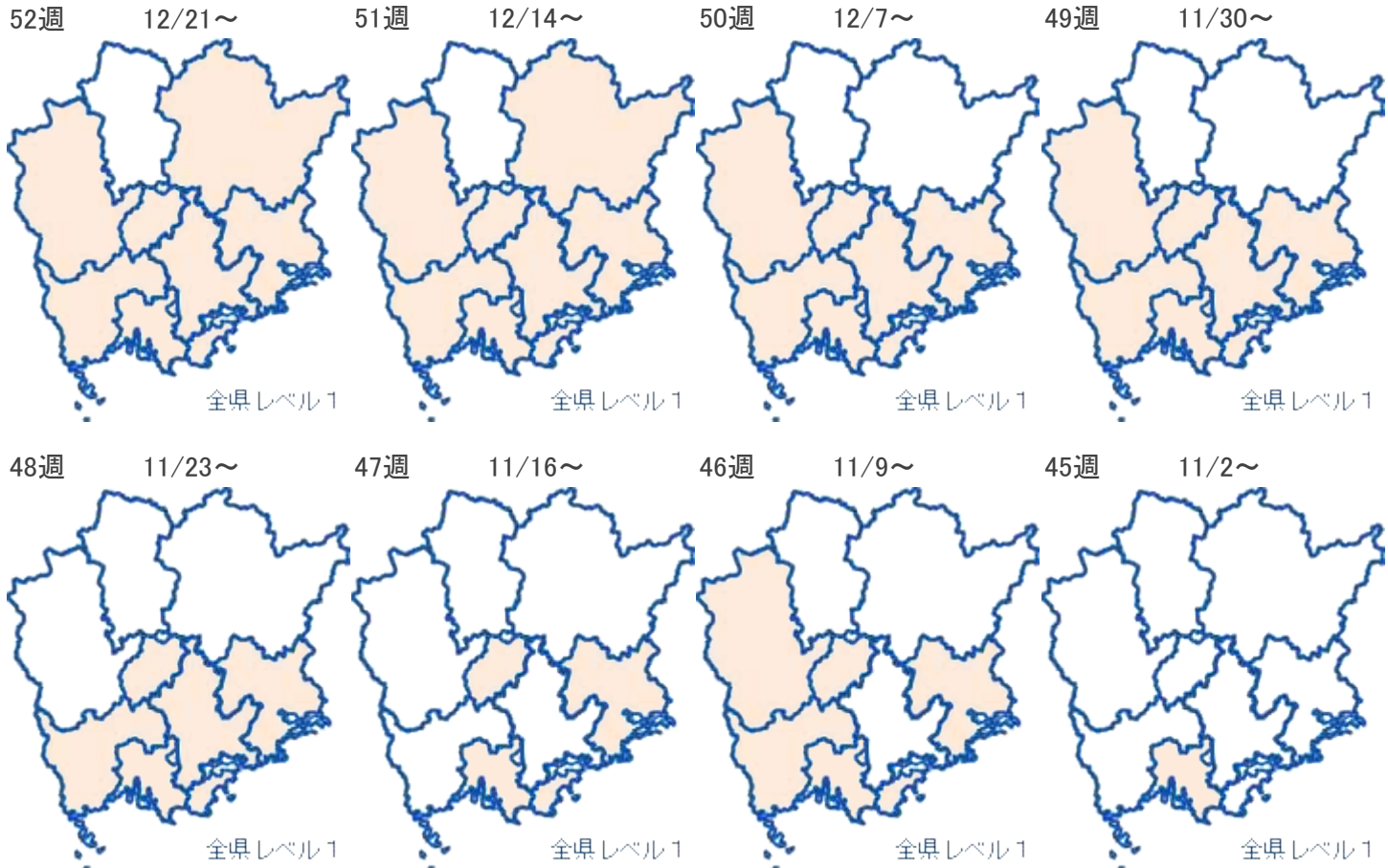
* 重複あり



岡山県地区別 インフルエンザ感染症マップ 2015年 52週

2016年1月5日

10:53:17



インフルエンザ

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。